

## ◎ビタミン静注用 [注], ◎ ビタミン配合散 [内]

【重要度】 【一般製剤名】VB1, 6, 12 複合剤 benfotiamine, pyridoxine hydrochloride, cyanocobalamin 【分類】B群ビタミン剤 [神経・筋機能増活剤]

【単位】◎瓶, ◎g [配合散]

【常用量】■注射: 1日1V■内服: 0.75~1.0g/日

【用法】■注射: 3分以上かけて静注 [または点滴静注]

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】神経疾患にVB1,, B6, B12の3種のビタミンを大量に与えることによって各ビタミン自体の代謝回転を促進し, 神経組織のエネルギー代謝, アミノ酸代謝, 脂肪酸代謝の改善が期待される。

【主な副作用・毒性】ショック、血圧低下、呼吸困難、発疹、掻痒感、悪心、嘔吐、熱感、悪寒、発熱

【F】悪性貧血の場合のシアノコバラミン1.2% (1)

【排泄】ベンフォチアミン: 尿中回収率20~30% [24hr まで] (1) シアノコバラミン: 尿中回収率3%, 糞便中に50%回収 [ラット] (1)

【蛋白結合率】少量 (チアミンジスルフィド)、その他資料なし

【TDMのポイント】TDMの対象にはならない

【効果発現時間】神経疾患に対する改善効果は、通常1~2週間後に見られる例が多い (1)

【備考】ビタミンB12の分解を防止するため遮光する。点滴の場合の遮光は、12hr以上にわたり投与する場合に考慮し、HD中点滴では必ずしも必要ない (5) 静脈栄養時のビタミンB1推奨投与量は6mg/日 (FDA)

【更新日】20170523

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。